

Japanese Utility Model Application No. 60-105324

Filing Date : July 18, 1985

Inventor : Hachiro OKUBO

Applicant: Kinki Insatsu Kabushiki Kaisha

UNSEALED AND RE-LOCKING DEVICE OF HINGE-TYPE OPENING CONTAINER

In a sealed-type hexahedron outer box (1) of the present invention, a back surface board (2) is provided with a transverse folding line (3), right and left side boards (5) (5) and a front board (6) are provided with a continuous perforation (4) whose both ends connect to the respective ends of the folding line (3). One side of the outer box (1) that is located lower from the folding line (3) and the perforation (4) is a main body (7), an the other side thereof that is upper from the folding line (3) and the perforation (4) is a lid member (8). The lid member (8) is attached to the main body (7) through the folding line (3) in a hinged matter whereby the lid member (8) can open and close from the main body (7). A tongue piece (11) is sectioned on the front board (6) by a folding line (9) which is a part of the perforation (4) and an arced perforation (10) which is formed on the main body (7) from the both ends of the folding line (9). An inner box (12) to be inserted into the hexahedron outer box (1) is formed with a cut line (13) at the place corresponding to the folding line (9) of the perforation (4). By inserting and engaging the tongue piece (11) into the cut line 13), the lid member (8) and the main body (7) can be locked.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

公開実用 昭和60—105324

⑨日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報 (U)

昭60-105324

⑫Int.Cl.⁴

B 65 D 5/54
5/66

識別記号

庁内整理番号

6540-3E
6540-3E

⑬公開 昭和60年(1985)7月18日

審査請求 有 (全頁)

⑭考案の名称 仰開式容器の開封兼再ロック装置

⑮実願 昭58-197585

⑯出願 昭58(1983)12月22日

⑰考案者 大久保 八郎 大阪市西淀川区野里3丁目4番3号

⑱出願人 近畿印刷株式会社 大阪市西淀川区御幣島5丁目12番24号

⑲代理人 弁理士 秋山 鳳見 外2名

明細書

1. 考案の名称 仰開式容器の開封兼再ロック装置

2. 実用新案登録請求の範囲

密封状六面体外箱1の背面板2に横方向折目3を設け、該折目3の両端と連続し、左右側板5、5及び正面板6に亘つて一連のミシン目4を穿設し、該折目3及びミシン目4の下方を本体7、同上方を蓋体8とし、折目3において蓋体8を本体7より仰開式に開蓋する仰開式容器において、正面板6のミシン目4上の一部を折目9とし、該折目9両端より本体7の正面板6上に円弧状ミシン目10を穿設して舌片11を区画し、前記六面体外箱1内に挿嵌し得る内箱12を別設内蔵し、前記ミシン目4の折目9と対峙する内箱12の位置に切目13を穿設したことを特徴とする仰開式容器の開封兼再ロック装置。

3. 考案の詳細を説明

本案は密封状六面体外箱の背面板に横方向折目を設け、該折目両端と連続し、左右側板及び正面板に亘る一連のミシン目を施し、該折目とミ

(1)

シン目により該外箱を本体及び蓋体に区分し、正面板の一連のミシン目上に折目を設け、該折目両端より円弧状ミシン目を本体の正面板上に穿設して舌片を蓋体に連設し、該円弧状ミシン目を開裂して本体と蓋体を開封し、蓋体を引き上げて一連のミシン目を開裂し、蓋体を前記折目において本体より仰開式に開蓋し、再施蓋時には舌片を予め前記外箱に内蔵した内箱の切目に挿嵌しロックする仰開式容器の開封兼再ロック装置に関するものである。

従来、円弧状ミシン目を開裂して開封装置とすること、及び舌片を切目に挿嵌してロック装置とすること自体は夫々公知であるが、円弧状ミシン目を開裂する開封装置としての舌片をそのまま外箱に内蔵した内箱の切目に挿嵌し、ロック装置とした仰開式容器の開封兼再ロック装置は未だ存在しない有様である。

今、ここに本案実施の一例を示す添付図面について詳説する。1は密封状六面体外箱で、第4図に示す如く背面板2、左右側板、5、5及び

正面板 6 を連設し、右側板 5 側端の貼着片 14 を左側板 5 側端に貼着して筒状に成形し、左右側板 5, 5 の夫々上下端に連設した折曲片 15, 15, 15, 15 を内方に折曲し、背面板 2 の上下端に連設した貼着片 16, 16 を更にその上に折曲し、該貼着片 16, 16 へ正面板 6 の上下端に連設した上面板 17 及び底面板 18 を夫々貼着し、密封状としたものである。3 は背面板 2 上方に設けた横方向折目で、4 は該折目 3 の両端より左右側板 5, 5 及び正面板 6 に亘つて穿設した一連のミシン目である。7 は前記外箱 1 の該折目 3 及びミシン目 4 よりの下方の本体であり、8 は同上方の蓋体である。9 は正面板 6 のミシン目 4 上の一部分にミシン目 4 の代わりに設けた折目である。10 は該折目 9 の両端から本体 7 方向に穿設した円弧状ミシン目で、一連のミシン目 4 と連続するものである。11 は折目 9 と円弧状ミシン目 10 で囲まれる舌片で、折目 9 により蓋体 8 と連設するものである。12 は内箱で、前記外箱 1 に挿嵌し得る

ものであり、本実施例においては第2図に示す如く二個設け、夫々顆粒状薬剤等のステイクパック19を収容し得る上端開放状とし、夫々外箱1の正、背面板6、2と幅及び高さを稍小さくした内箱の夫々正、背面板20、21、外箱1の左右側板5、5と幅が寸で、高さが稍小さくした側板22、22を第5図に示す如く連設し、左側端の貼着片23を右側端の側板22に貼着し、正、背面板20、21の下端に底板24、24を連設し、夫々の先端中央部に凹部25及び凸部26を成形し、該凹凸25、26を組み合わせ底部を閉塞したものである。13は切目で、夫々二つの内箱12の正、背面板正面板6の前記折目9と対峙する位置に穿設したもので、内箱12に20、21の前記外箱1に挿嵌したときに正面板20と背面板21との区別をつけず、どちら向きに外箱に挿嵌した場合も折目9と符合するよう構成するものである。27は夫々四本の切目13よりの立ち上がり切目で、切目13の上端に弾力性を与えるものである。

本案は以上の如き構成で、これを組み立てるに

当つては、自動的あるいは手動的に前記の如く内箱12を組み立て、薬剤等のステイツクパック19を収容し、該内箱12を二つ重ねて、第4図に示す如く展開した外箱1上に載置し、公知の如く製薬機等で内箱12, 12を内蔵して前記のように組み立て、第1図に示す如く完成するものである。

次に、これを使用するに当つては、外箱1の舌片11に指頭をかけ、上方の折目9において舌片11を内方に押し込み、円弧状ミシン目10を開裂して外箱1を開封し、そのまま折目9に指頭をかけ、蓋体8を折目3において本体7より仰開式に開蓋すればよいものである。また、再施蓋に当つては、蓋体8に折目9を介して連設された開封断片の舌片11を内箱12の正、背面板20, 21に穿設した切目13に挿嵌すれば、四本立ち上がり切目27より切目13上端が弾力を受け、舌片11をより緊密にロックするものである。而も舌片11の切目13への挿嵌に当つて、舌片11の基部に折目9が付設

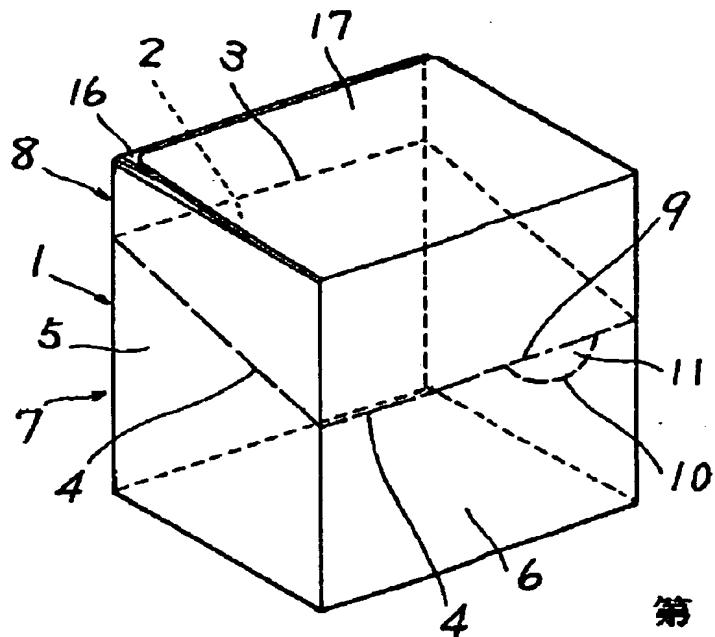
されているからより挿入し易くなるものである。
外箱1に内蔵した内箱は舌片11のための切目
13を穿設するためと、舌片11を押し込んで
円弧状ミシン目10を開裂し易く補強するため
のものである。

4. 図面の簡単な説明

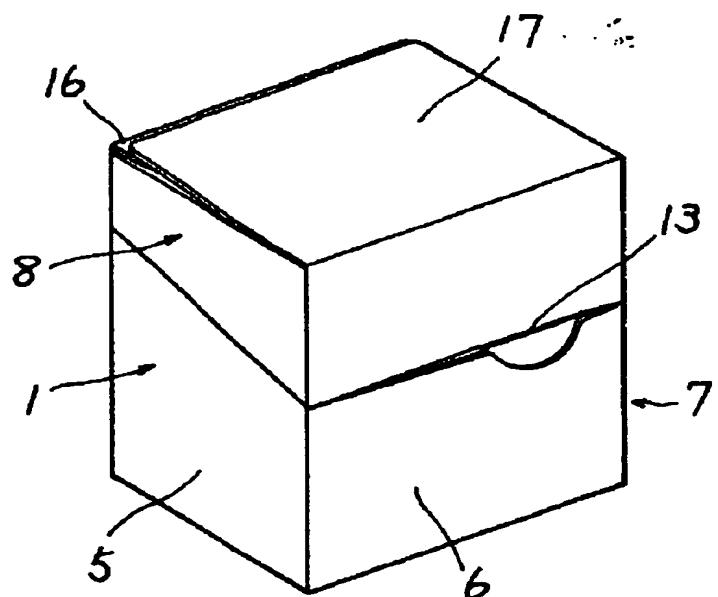
添付図面は本案実施の一例を示すものであり、
第1図は閉蓋時斜視図、第2図は開蓋時斜視図、
第3図は再施蓋時斜視図、第4図は外箱展開図、
第5図は内箱の展開図である。

1…密封状六面体外箱、2…背面板、3…横向
折目、4…ミシン目、5, 5…左右側板、6
…正面板、7…本体、8…蓋体、9…折目、
10…円弧状ミシン目、11…舌片、12…内
箱、13…切目、14…貼着片、15…折曲片、
16…貼着片、17…上面板、18…底面板、
19…ステイツクパック、20…正面板、21
…背面板、22…側板、23…貼着片、24…
底板、25…凹部、26…凸部、27…立ち上
がり切目。

第1図



第3図

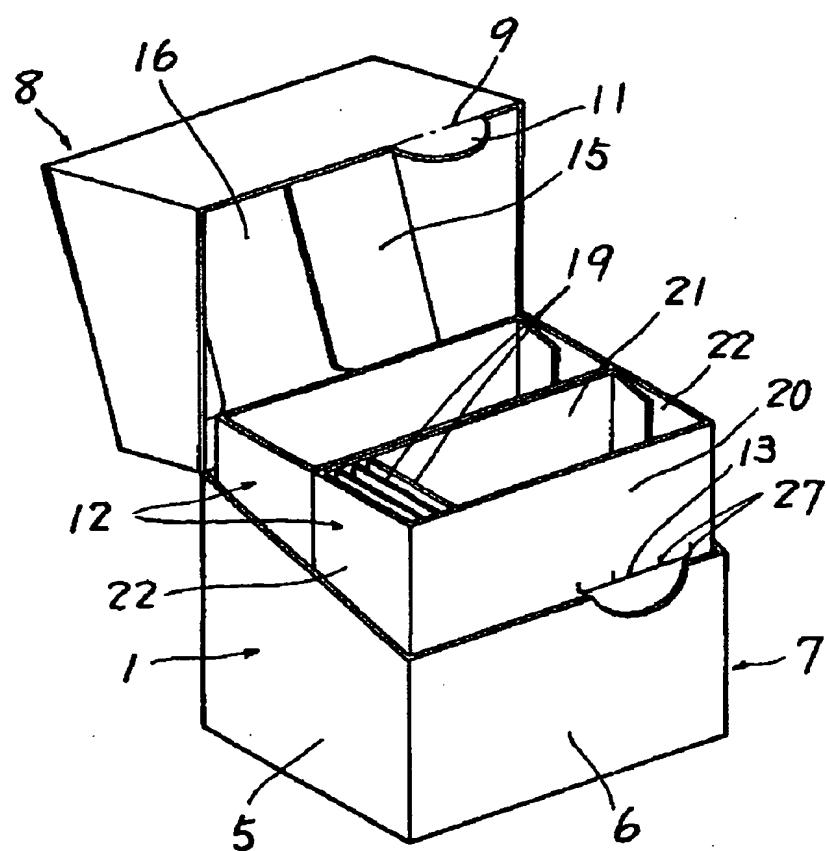


253

実開60-105324

出願人 近畿印刷株式会社
代理人 秋山鳳見
ほか2名

第2図

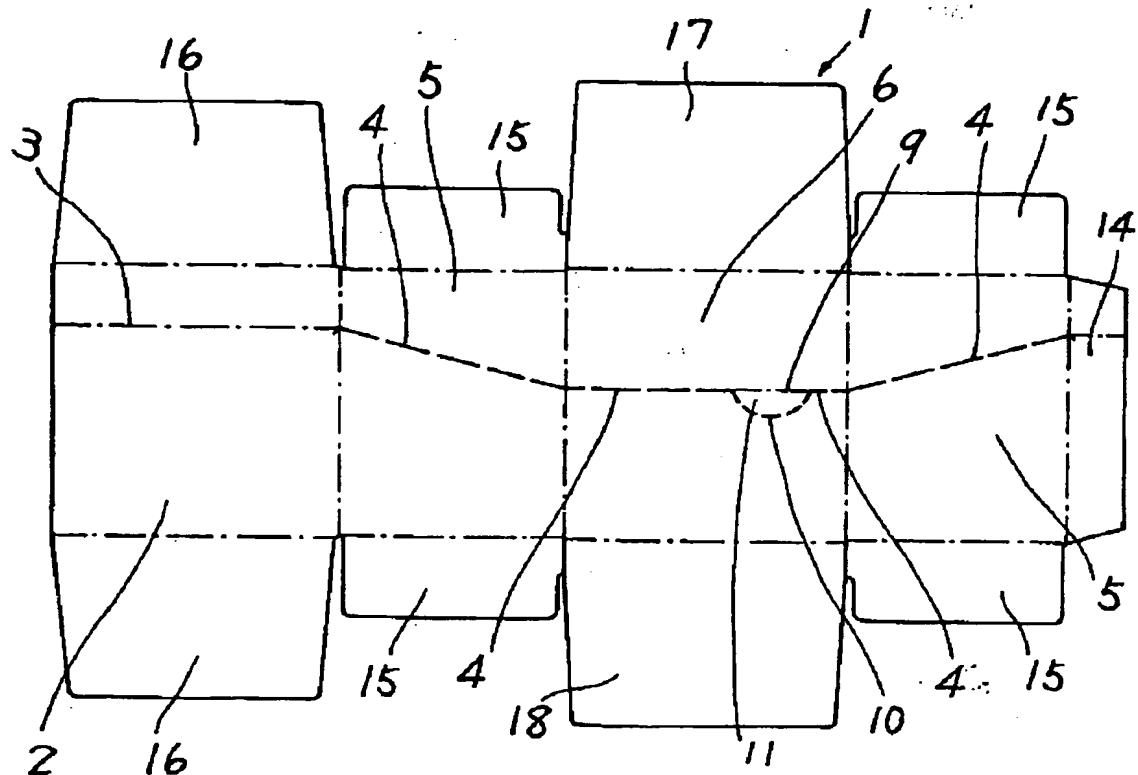


254

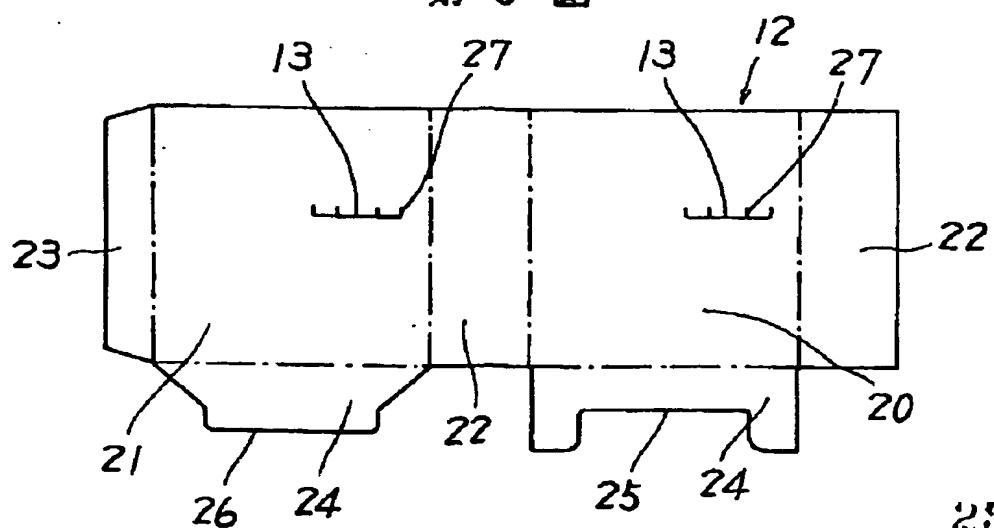
実開60-105324

出願人 近畿印刷株式会社
代理人 秋山鳳見
ほか2名

第 4 図



第 5 図



出願人 近畿印刷株式会社
代理人 秋山圓

出願人 近畿印刷株式会社
代理人 秋山鳳見 ほか2名
東京60-7 15224